

令和7年度
赤穂市立坂越中学校
「学校だより」

千種川

令和7年6月号
文責:校長
小溝健二

校訓 「希望・友情・責任」

学校経営目標 「志高く、夢に向かって自ら挑戦する生徒の育成」

～さわやかな「あいさつ」、あふれる「笑顔」、響く「歌声」～

3年生のパワーを見た最幸の2泊3日。沖縄での思い出を大切に！



平和宣言



ガマ体験



ホテルの夕食ビュッフェ❤️

3年生が5月27日から沖縄へ、2泊3日の修学旅行に行ってきました。1日目の平和学習ではひめゆりの塔や平和祈念資料館の見学、平和祈念セレモニーや防空壕（ガマ）体験を行い、戦争の惨禍を繰り返さないことを誓いました。2日目は大自然を満喫。青く美しい海でマリンスポーツを楽しみ、美ら海水族館でも海洋生物の生態に触れました。夕食時には三線演奏やサプライズ誕生日会等で盛り上がり、1日を通じて大切な思い出がたくさんできました。最終日は朝から雨模様でしたが、沖縄ワールドで鍾乳洞や伝統芸能のエイサーを見学

した後、国際通りでの班別自由行動を楽しみました。梅雨真っ只中の沖縄でしたが、2日間は傘が不要の好天に恵まれました。3年生の力ですね。沖縄の「歴史、文化、自然、人」と触れ合い、バスガイドさんの軽妙なペースで移動中も爆笑の連続でした。一人一人の願い、ご家族の支え、そして3年生学年団の想いが結実した、最幸の修学旅行になりました。その思い出を3年生諸君はいつまでも忘れないでしょう。みんなの「幸せ」を体現できた今回の旅行。その輝きをずっと心に抱いて、これからも更なる成長を遂げてほしいと思います。



マリン体験（バナナボート）



バス也大盛り上がり！



美ら海水族館のじんたくん

アルテシニア先生講演会

作家のアルテシニア先生をお迎えして、人権講演会（ジェンダー講演会）を5月14日（水）に開催しました。テーマは「真のラスボスは誰？～ジェンダー知らなきゃヤバい時代がやってきた～」。世の中には、生まれもった「性」とそこに生じる「性差別」の狭間で、辛い思いをしながら生活している人がいること。みんなが幸せな気持ちで暮らせる世の中をつくるのは、他でもない私たち一人一人だということ。そのために自分の考えをしっかりとつことが大切だということ等、90分間にわたって、軽妙な語り口調に乗せて、熱く語っていただきました。先生は「立

場の弱い人が、自分の意見や主張を抑え、我慢して生きる世の中はおかしい。」と、著書や講演活動、映像等を通して発信されています。

日本の社会では男性と女性が対等に扱われていない部分も未だにあり、そうした現状の改善に取り組まれています。国際社会では、日本以上に女性の社会進出も進んでいます。

「性」についての理解を深め、互いの人権を大切にしよう社会づくりを、皆の努力で進めていかなければなりません。



修学旅行のこぼれ話 「石敢当」

修学旅行でお世話になったバスガイドの仲里美矢子さんから、写真にある小さな「石敢当」をいただきました。読み方は「いしがんとう」。沖縄に古くから伝わる「魔除け」の石だそうです。

お陰様で、坂越中学校の修学旅行が、事故等もなく無事に進み、充実した旅行になりました。今、その石敢当は校長室の机の上で今度は坂越中学校の安全を見守ってくれています。その他にも、仲里さんは私たちのために様々なものを準備してくれていて、限りある時間の中で最大限のおもてなしをしてくださいました。形ある何かをいただくことはもちろん嬉しいことですが、それにも増して、思いやりの心で私たちに接して下さったことがより尊いことのように感じられました。

バスガイドさんをはじめ、ホテルやいろいろな施設・場面でこの旅行を支えて下さった多くの沖縄の皆さんは、優しい気持ちで私たちに接してくれました。そうした想いを正しく理解し、自分たちもそうした想いを大切にしていけることを教えてもらったことが、今回の修学旅行が残してくれた1つの大きな成果だったのでないでしょうか。そして、それこそが3年生の皆さんが将来に向けて、大切にすべき本当の「石敢当」に他ならないのだと思います。



6月の行事予定

- 2日（月）PTA 委員総会
（今年度は紙面開催です。）
- 4日（水）1年生関谷学校野外活動
（～5日、1泊2日）
- 6日（金）1年振替休業日
- 10日（火）オープンスクール
- 11日（水）耳鼻科健診
- 13日（金）2年生関西福祉大学
キャンパス体験
- 18日（水）期末考査（～20日）
- 21日（土）市総体（陸上競技）
- 27日（金）部活動壮行会
- 28日（土）市総体（～29日）
- 30日（月）振替休業日



スクールカウンセラーは生徒、保護者の皆さんの相談を受け付けています。希望される場合は学校(48-8007)までご連絡ください。